

「第2回学校評議員会」 「地域の声を聞く会」 実施報告

令和5年2月10日（金）15:30～17:00 本校会議室

5名の学校評議員の皆様、3名の地域の皆様からご参加をいただき、以下のようなご意見をいただきました。

今後の学校運営に生かしてまいります。
大変、ありがとうございました。

学校評議員の皆様からのご意見等

進路決定において、アンケートから保護者の不満を感じる。生徒と保護者との間に意識の差がある。高校では保護者同士の横のつながりもなくなり、不安が募る。情報発信を密にするとよい。巻フェスへの参加はありがたい。参加してくれる生徒もよく動いてくれる。

専門学校希望者が増加しているのは、インターンシップができないことも一因ではないか。インターンシップの復活を望む。製造業、ものづくりが盛んな地域でもある。ものづくりに興味を持つ生徒を増やして欲しい。

巻総CHATは特色ある取り組み。大学入試でも有利になるのではないか。科目選択は時間割作りが大変だが、大学生1年生も同じ壁にぶつかっている。科目選択は、社会人の準備としての自己決定の練習となる。

保護者アンケートから進路情報について否定的であると感じる。どんな情報を求めているのか。農業は以前とは形態が変化し、就職口にもなっている。農業の魅力や可能性を伝えていく必要がある。食料環境系列の生徒に出口としての農業の魅力伝えて欲しい。

福祉関係の専門学校への進学者は増えているが、専門学校を卒業して就職してくる人は減っている。来年度から福祉施設内での研修を受け入れる。実際に体験して、福祉の楽しさや魅力を体験して欲しい。学校とも協力をしたい。授業の実習に施設での実習を組み込むなど検討しいて欲しい。障害者との交流の場がなく、考案中。どういうスペースがあればいいか、高校生からの意見が欲しい。

地域の皆様からのご意見等

保護者が生徒を送迎する様子を見て、小中の頃からのことかと感じている。
科目選択にしても、生徒の希望が叶うようにして欲しい。
生徒が目標を早くから立てることができる教育をして欲しい。
歩道の除雪をしている。学校にある木に雪が積もると歩道に垂れ下がり除雪ができない。改善を望む。

アンケートをメールやネットをとおして行くと便利であるが、回収率がガクッと下がる。
紙でのアンケートなどは親子の関わりの場にもなっている。
中学ではタブレットを生徒は上手に使っている。ロイロノート等で課題提出などしている。
おとなしめの生徒も意見を発信できるようになり、自己肯定感を高めることに役立っている。

保護者からの声にマイナスなものが多いが、中学も同じ。
コロナ禍で学校を休むことへのハードルが低くなっている。他校でも同様の声が出ていた。
科目選択の方法や手順などをしっかりと伝えて欲しい。中学と高校と連携して伝えていきたい。